進路だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第４号
平成２９年９月１日発行

施設見学、職場見学が行われました

夏休みを利用して、各学部の児童生徒や保護者、学校職員の施設見学や職場見学が行われました。

スクールファーム河辺（秋田市河辺）

就労継続支援Ａ型、Ｂ型事業所です。「ＬＥＤきらめき農園」（ＬＥＤ光源による植物工場）での作業などを行っています。旧赤平小学校校舎を活用しています。

〈感想〉説明がとても丁寧で分かりやすく、新しいことを取り入れようと工夫しているところが魅力的でした。利用者の方も自分のペースで真面目に取り組んでいて感心しました。これからも、子どもと一緒にいろんな事業所を見て将来の進路を考えたいと思います。
（中学部・保護者）

あきた病院（由利本荘市岩城）

一部の病棟で療養介護サービスを行っています。大屋根を備えた入口や車椅子を入れて総勢１３名が一度に移動できるエレベーターなど、設備が充実しています。

〈感想〉病棟見学では、息を吹きかけるナースコールや全てのトイレに備えている電動リフトを見ることができました。リフトの移乗を一部体験させてもらい、日常生活の一部を知る貴重な経験となりました。（小学部・職員）

〈感想〉進路のきっかけづくりとして見学しました。秋田にこのような場所があることを知らず大変参考になりました。こういった機会を設けていただき、感謝しています。（小学部・保護者）

アキタネット（秋田市東通）

就労継続支援Ｂ型事業所です。データ入力などのＩＣＴ業務の他、軽作業（ラベル貼りなど）、農業（ニンニクの栽培）を行っています。開所時間は９時から１５時までですが、利用者に合わせて短時間の利用ができます。

〈感想〉利用者の皆さんが笑顔いっぱいに楽しそうに作業していました。ＷＥＢ制作のイメージが強かったのですが、農業にも力を入れていて、利用者の得意なことを生かせる豊富な作業種と環境が整っていました。（高等部・職員）

ウェルビューいずみ（秋田市泉）

保育所、障害福祉サービス事業所、高齢者の居住施設などの福祉施設が一つの建物に入っています。老人デイサービスセンターでは、基準該当障害福祉サービス事業所※として生活介護（入浴や余暇活動）を提供しています。

※介護保険制度事業所で、一定の基準を満たしていると認められた事業所です。障害福祉のサービスを提供できます。

〈感想〉利用者に合った、ゆったりした日課で過ごしていました。高齢者と同じフロアで、お互いにメリットのある環境だと感じました。実際に見学し、ゴールを把握した上での進路指導を心掛けたいと思いました。（中学部・職員）

保護者の方にとっては、施設・職場見学が進路を考えるきっかけになったようです。子どもと一緒に見学することで、進路について話し合う機会にもなります。今後も、学校での進路相談会やＰＴＡによる進路研修が計画されていますので、どうぞご参加下さい。また、クラスや個別での見学も可能です。ご希望のある方は担任にご相談ください。

★裏面には学部ごとの記事が連載されています★

小学部は「意思表示」や「施設入所や病院への入院」について、**中学部は「高等部卒業後の進路先」**について、**高等部は「この春卒業した人たちは…今」**についてです。他の学部の記事が見たい方には差し上げますので、学級担任までお知らせ下さい。ホームページ、学校の進路コーナーの掲示でも御覧いただけます。

同窓会総会と成人を祝う会が行われました

小学部版

成人になられた平成２７年度卒業のみなさん

新成人７名を迎え、８月５日（土）に同窓会主催の成人を祝う会が行われました。当日は、同窓生、ご家族の皆さん、学校で縁のあった先生方、総勢７３名が集まりました。それぞれのテーブルで和やかな雰囲気の中、懐かしい話で楽しい時間を過ごしました。会の後半では、新成人からは力強い、ご家族、旧担任の先生からは温かなスピーチをいただきました。同窓会から新成人の皆さんへ、記念として花束と記念品を贈呈しました。

同窓会から記念品の贈呈

担任の先生からのスピーチ

祝う会へ向け、同窓会役員会では記念品を選定したり、会の運営について話し合ったりして準備を進めてきました。また、当日は、受付や会食の準備、片付けなどに卒業年度の違う同窓生同士が協力して会の運営に携わっている姿も見られました。

成人を祝う会に先立ち行われた同窓会総会では、平成２８年度の活動についての報告や平成２９年度の活動計画について話し合われました。

小学部からの進路学習　その3「意思表示」

実習先の方

やりたいことやできないこと、快や不快などの気持ちを、自分から伝えてくれると助かります。

「先回り」していませんか？

大人が先に意思をくみとって手助けすると、子どもは自分の気持ちを発信しづらくなります。

☆子どもの意思表示を待つ

子どもが何かを落として困っているとき、何か飲みたくて待っているときなど、すぐに手伝わずにあえて発信を待ちます。「○○してほしい」などの子どもの依頼を待ってから手伝います。

☆小さな意思表示を見つけましょう

意思表示が分かりにくい子や時間がかかる子、苦手な子には、伝え方や姿勢、場所等、子どもが伝えやすい環境を整えて、待ってみましょう。子どもの表情の変化や仕草から気持ちが伝わったら、大人が言葉や行動で「伝わったよ」と応えましょう。この繰り返しが、子どもの「伝えたい」という気持ちの育ちにつながります。

☆自分で考えて選び、決める練習を

生活の中で、遊びや食べ物、着る物など、子どもが自分で考えて選ぶことが大切です。
①最初は選択肢を少なくし、実物を見せるなど、子どもにとって分かりやすい方法にする。
②選んでほしくないものはあらかじめ外す。（例えば、衣服を選ぶ時、寒い時期には半袖を選択肢から外すなど）
③本人の選んだことは尊重する。　④選んだ結果を体験するところまで見守る。

Q&A

Q 高等部卒業後、施設入所や病院への入院を希望しています。見学したいのですが…。

A.関心をもった時点で見学することはよいことです。また、実際に短期入所で利用体験してみることもよいでしょう。見学の際には、進路指導部が日時などを調整しています。見学や利用の希望がありましたら、担任にお伝え下さい。